

6月 ^するりに澄む

令和8年度 原山中だより

【第3号】令和8年6月1日発行

「成長」

校長 木和田 美佐

校庭の木々も逞しく成長し、夏の気配が感じられる季節となりました。

私の自宅の庭にも種から育てたレモンの木があるのですが、先月の半ば頃から青々とした葉がみるみるうちに欠けていくのに気づき、よく見ると黒いアゲハ蝶の幼虫が数匹付いていました。取ってしまおうかとも思ったのですが、その旺盛な食欲に圧倒され、レモンの木には申し訳ないのですが、アゲハ蝶用にすることに決めました。幼虫たちの成長が楽しみです。

さて、5月23日(土)には多くの御来賓の皆様、保護者・地域の皆様に本校の体育祭に御来校いただき、温かい声援をいただきましてありがとうございました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。当日は、天気にも恵まれ、清々しい空のもと生徒たちの熱戦が繰り広げられました。日々の練習の成果を思う存分に発揮して、生き生きと躍動する生徒達の姿に、校長としても胸の熱くなる思いでした。

当日を迎えるまでには、クラスごとの練習や応援旗作りなど、様々な取組がありました。学校の行事では、本番に練習の成果を発揮することや自分の係りの仕事に責任をもって取り組むことも大切なことですが、そこに至るまでの日々の積み重ねこそが生徒たちの成長には欠かせません。例えば、本番までの数週間、学年ごとに長縄跳びの朝練習がありました。いつもよりも早く起きての練習ですから、クラスで決めた時間に間に合わず、遅れてくる生徒もちらほら見られました。練習に途中から混じることへの引け目もあり、しり込みしているクラスメートに「早く入りな」と声をかける生徒がいます。声をかけられて「ほっ」として長縄の列に入る生徒がいます。私は、その光景を見て日々の学校生活の中で生徒たちが様々な「生きる力」を身に付けていく様子を感じます。「遅れて困っているな」、と友達の気持ちを理解して他の気持ちよりも優先させて友達に一声かけられる生徒の優しさに、そして、失敗しても一歩下がるのではなく、「参加しよう」と一歩前に出ることができた生徒の勇気に、私は誇りを感じます。中学校での日々は、生徒にとって自分の思い通りにはならず、失敗や挫折の連続かもしれませんが、それでも友達や先生の励ましや協力を糧に、くじけずに日々成長していったほしい、と願っています。

さて、5月29日(金)から、さいたま市学校総合体育大会が始まっています。大会に向けて、3年生を中心にどの運動部もこれまで一生懸命練習に励んできました。3年生にとっては、これが最後の大会となります。生徒達にはこれまでの練習の成果を発揮して、悔いのないようカー杯試合に臨んでほしいと思います。

最後に、6月は「いじめ撲滅強化月間」です。8日(月)には、朝礼での講話も予定しています。いじめは、卑怯な行為であり、決して許されるものではありません。教職員一同「いじめは絶対に許さない」という思いで、日々の教育活動に臨んでいます。ぜひ、御家庭でもお子様の様子を見ていただき、気になることがありましたら、早めに担任や学年の職員、またさわやか相談室等に御相談ください。よろしくお願いたします。